

木々の緑もどんどん色濃くなり、朝日の森にもたくさんの生き物が姿を見せるようになってきました。今年度も企画事業がスタートし、4月28日(土)には「ダンボールでピザを焼こう」、5月26日(土)～27日(日)には「ブナの森探検と初夏キャンプ」を実施しました。これからがいよいよキャンプシーズン本番となり、たくさんの団体さんより来所していただく予定です。また、親子で参加できるイベントもたくさん企画しています。キャンプが初めての方も、手軽に参加いただける内容となっていますので、チラシやホームページを是非ご覧ください。

朝日の山並み

ブナの森探検と初夏キャンプ

1日目は、テント設営とアウトドアクッキングを行いました。初めての経験の方も多く、いつもとは違った親子の触れ合いがあったそうです。夜はスライド「四季のブナ林」で次の日の予習をしたり、特大のキャンプファイヤーをみんなで楽しんだりしました。



2日目のメインは、月山ブナの森探検です。ネイチャーセンターの2名のガイドさんに案内していただき、残雪の広がる広大なブナ林の中で、自然の雄大さや命のつながりについて学ぶことができました。



「少年の火」が語るもの



「朝日少年自然の家」玄関前に、『火の年少』と書かれた看板を掲げた建物があります。太い切株をくり抜いた奥に小さな明かりが灯っています。

これは、昭和53年8月20日に大朝日山頂でレンズによって採火された火が今なお燃え続けているのです。この火を永遠に灯し続け、山形県の少年一人一人が心明るく大きく強く成長することを願ってここ朝日少年自然の家に設置されました。

「限らない未来への道標、少年一人一人に生きる力、活動の安全を守る『愛の灯』として、温かい心やたくましい体、自然への感謝を思って安置される『聖なる火』として、当時の青年有志が灯したものだ」と伝えられています。

来所されましたら、ぜひ「少年の火」の温かい炎をのぞいてみてください。そして、うれしい時、悲しい時、苦しい時、つらい時に永久に燃え続ける聖なるこの炎を思い出し、そっと自分の心の中に灯しは、勇気を出して前進している姿を思い浮かべてはいかががでしょうか。



ゴッチさん

～利用者の方からいただいたご意見から～

【ご意見】

「自然の家」の各部屋に時計があると子ども達に集合時間等を意識して行動させられるのではないかと。(時計がないメリットもあるが)

【回答】

子ども達が「自分で時間を気にしながら次の行動へ移ることができる判断力」はとても大切です。「自然の家」宿泊棟の2、3階それぞれに1つずつ時計がありますので、個々がその時計を意識したり、仲間で時間を伝え合ったりする等の工夫によって、「不便であること」を逆に仲間づくりに活かしていただけたらと思います。

段ボールでピザを焼こう

「段ボールで作った手作りのかまどで、手ごねのピザが焼けるの？」ゴールデンウィークの初日に行ったこの企画には、100名近い方に参加いただきました。



生地作りやトッピング、段ボールのかまど作りから焼きあげまで、親子で力を合わせておいしいピザが完成しました。おうちの人と一緒に作ったピザの味は、特別な思い出になりましたね！

今後のイベントのご案内

朝日わくわく広場③「親子キャンプ～読育の巻～」

「読育」につながる活動を体験できる1泊2日のキャンプです。テント内での読み聞かせやわらべ歌を親子で楽しみませんか？

☆7月7日(土)～8日(日) 1泊2日

対象…幼児～小学2年・その保護者(先着16家族)



朝日わくわく広場④「カヌー体験 in 月山湖」

月山湖の大自然の中へ、カヌーに乗ってこぎ出してみよう！

☆7月16日(月) 海の日

対象…小学4年～中学生(先着20名)



発行
山形県朝日少年自然の家
電話
0237(62)4125
Fax (62)4126
ホームページ
山形県朝日少年自然の家
で一発検索

